

株 主 の 皆 様 へ



第95期 中間報告書

2009年4月1日 ▶ 2009年9月30日

JUKI 株式会社

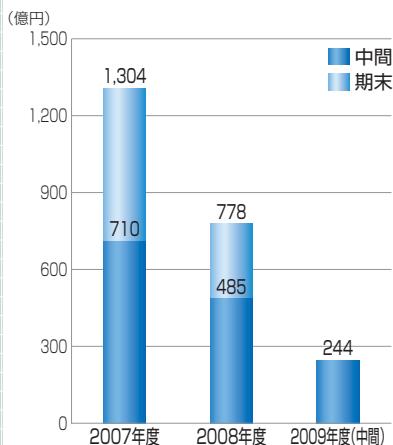
証券コード: 6440

業績のポイント

売上高は前期比16.9%減少
営業・経常利益は赤字拡大

売上高 244億円 (前期比 △49億円)
 営業利益 △75億円 (前期比 △6億円)
 経常利益 △75億円 (前期比 △1億円)
 当期純利益 △75億円 (前期比 13億円)

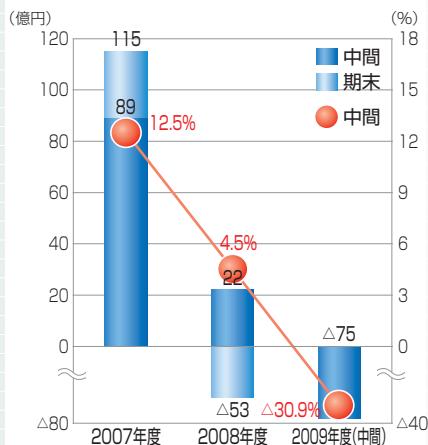
■ 売上高



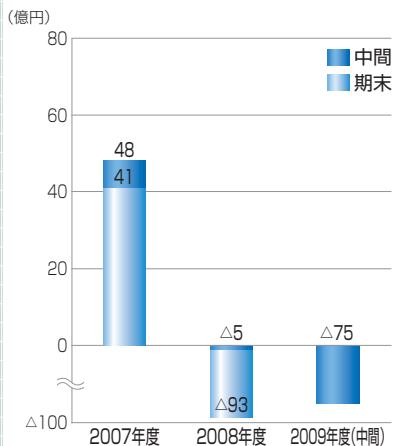
■ 営業利益 ● 売上高営業利益率



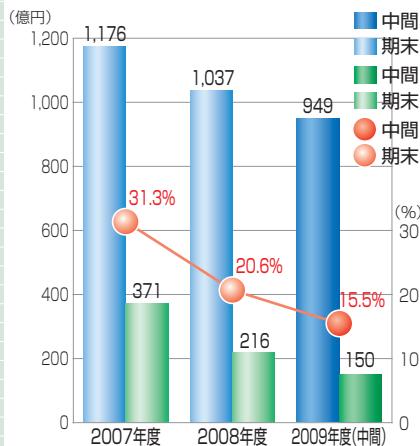
■ 経常利益 ● 売上高経常利益率



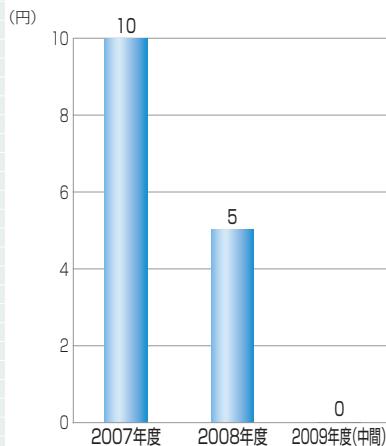
■ 当期純利益



■ 総資産 ■ 純資産 ● 自己資本比率



■ 1株当たり配当金



株主の皆様にはますますご清祥のこととお慶び申し上げます。また平素は格別なるご支援ご厚情を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社第95期中間報告書（2009年4月1日から2009年9月30日まで）をお届けするにあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

中国など各国政府の積極的な内需振興策にも拘らず、世界景気は全体として足取りが重い状況が続いております。このような厳しい環境のもとで、当社は工業用マシン事業、産業装置事業を中心に事業改革等のさまざまな施策を積極的に進めて参りましたが、第2四半期連結累計期間の業績は、売上高が前期対比16.9%減の243億5千3百万円、経常利益は前期対比1.2%減の75億3千4百万円の赤字となりました。また四半期純利益は、特別損失の縮小もありましたが、74億9千4百万円の赤字となるなど大変厳しい結果に終わりました。

この実績を踏まえ、中間期の配当は誠に遺憾ながら無配とさせていただきました。株主の皆様には大変申し訳ございませんが、何卒ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

下期につきましては、これまで以上に販売拡大やコストダウンなどに努め、早期の業績回復に努める所存でありますので、株主の皆様におかれましては、一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。



代表取締役社長

中村 和之

工業用マシン事業

中国市場では、前年10-12月を底に需要は回復の兆しを見せ始めましたが、欧米およびその他アジア市場では依然として需要の回復は見られず、円高の影響などもあり売上高は前期対比1.1%減の158億3千9百万円となりました。価格政策もあって営業利益は34億8千6百万円の赤字となりました。

下期については、新商品の販売拡大をはかるとともに、既存機種についてもコストダウンをスピードアップすることにより、収益の改善をはかってまいります。

売上高 **158 億円**

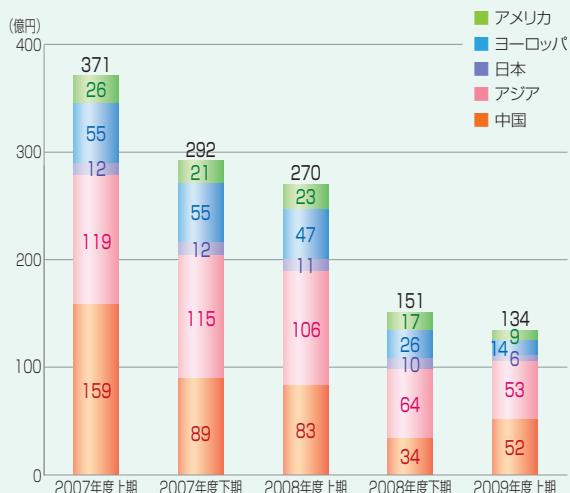
営業利益 **△34.9 億円**

売上高・営業利益推移



地域別売上高推移 (除く部品等)

中国は増加
中国以外は全地域で減少



販売台数・金額推移 (中国)

季節需要を背景に09年1-3月は大きく増加
4-6月も内需に支えられ増勢を堅持



産業装置事業

中国市場では、1-3月を底に内需に支えられ増勢に転じましたが、欧米およびその他アジア市場では需要の回復が弱く、また、厳しい価格競争の影響などもあり、売上高は前期対比47.8%減の38億4千4百万円となりました。営業利益はリストラ効果もあってマイナス26億7千万円となり赤字幅は縮小しました。

下期については、高速機FX-3を軸に販売拡大をはかるとともに、製造コストの更なる引き下げをはかっています。

売上高

38 億円

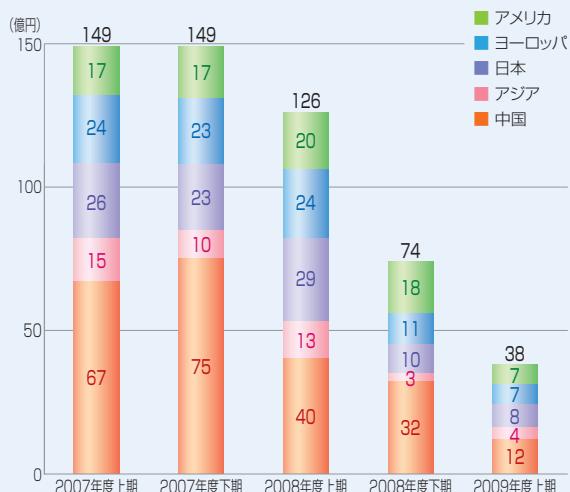
営業利益 Δ **26.7 億円**

売上高・営業利益推移



地域別売上高推移

アジアを除き全地域で減少
中国、アメリカは3分の1に



販売台数・金額推移 (中国)

09年1-3月を底に、内需に支えられ増勢に



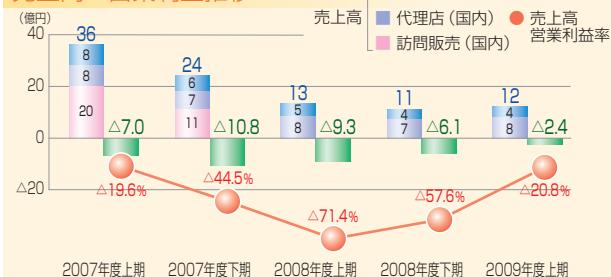
家庭用ミシン事業

新商品エクシード（コンピュータミシン）の発売により売上高は前期対比10.1%増の11億6千6百万円となりました。営業利益はリストラ効果により赤字が縮小し2億4千2百万円の赤字となりました。

下期については、特約店網の拡充による販売拡大と更なるコストダウンを実施してまいります。

売上高 **12 億円** 営業利益 \triangle **2.4 億円**

売上高・営業利益推移



電子・精密機器事業

赤字構造に陥っていた精密機器（アミューズメント）は今年8月に事業撤退し、また、電子機器は採算性を重視した取り組みを継続したことにより、売上高は前期対比40.2%減の12億8千1百万円となりました。営業利益は9千7百万円の赤字となりましたが、下期は精密機器事業撤退の効果により黒字化をはかります。

売上高 **13 億円** 営業利益 \triangle **1.0 億円**

売上高・営業利益推移



精密鋳造事業

住宅需要など景気低迷の影響などもあり、売上高は前期対比16.4%減の15億2千3百万円となりました。営業利益は4百万円の赤字となりました。

下期については、高付加価値ロストワックス部品を軸に販売拡大に努め、早期の黒字化をはかってまいります。

売上高 **15 億円** 営業利益 \triangle **0.04 億円**

売上高・営業利益推移



中間連結財務諸表(要旨)

中間連結貸借対照表

(百万円)

科 目	前期末 2009年3月31日現在	当第2四半期末 2009年9月30日現在	増 減
資産の部			
流動資産	62,971	53,383	△ 9,588
固定資産	40,683	41,490	807
有形固定資産	29,016	28,987	△ 29
無形固定資産	2,524	2,534	10
投資その他の資産	9,142	9,967	825
資産合計	103,654	94,874	△ 8,780
負債の部			
流動負債	64,501	54,708	△ 9,793
固定負債	17,564	25,159	7,595
負債合計	82,065	79,867	△ 2,198
純資産の部			
株主資本	27,264	19,769	△ 7,495
資本金	15,950	15,950	0
資本剰余金	8,977	8,976	△ 1
利益剰余金	2,394	△ 5,099	△ 7,493
自己株式	△ 57	△ 57	0
評価・換算差額等	△ 5,943	△ 5,030	913
少数株主持分	267	266	△ 1
純資産合計	21,589	15,006	△ 6,583
負債・純資産合計	103,654	94,874	△ 8,780

中間連結損益計算書

(百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	増 減
売上高	48,531	24,353	△ 24,178
売上原価	31,299	21,163	△ 10,136
売上総利益	17,231	3,189	△ 14,042
販売費及び一般管理費	15,349	10,644	△ 4,705
営業利益	1,881	△ 7,454	△ 9,335
営業外収益	880	955	75
営業外費用	578	1,036	458
経常利益	2,183	△ 7,534	△ 9,717
特別利益	53	219	166
特別損失	2,347	628	△ 1,719
税金等調整前中間純利益	△ 110	△ 7,943	△ 7,833
法人税、住民税及び事業税	△ 68	△ 2,985	△ 2,917
法人税等調整額	457	2,549	2,092
少数株主利益	19	△ 12	△ 31
中間純利益	△ 518	△ 7,494	△ 6,976

中間連結キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

科 目	前第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	当第2四半期 連結累計期間 2008年4月1日から 2008年9月30日まで	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,363	212	5,575
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,128	△ 6,068	△ 3,940
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,545	3,744	△ 801
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 57	212	269
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,003	△ 1,898	1,105
現金及び現金同等物の期首残高	9,940	8,925	△ 1,015
現金及び現金同等物の中間期末残高	6,937	7,027	90

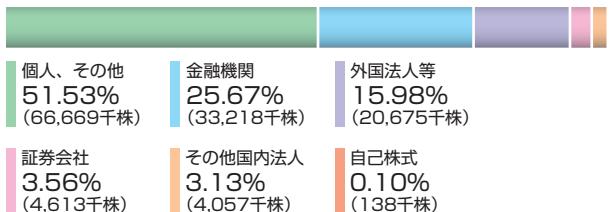
会社情報

■ 会社概要 (2009年9月30日現在)

商号	JUKI株式会社
創立	1938年12月15日
資本金	159億5,026万円
営業品目	工業用マシン/産業装置/家庭用マシン 電子・精密機器/精密鋳造他
従業員数	5,903名(連結)
連結子会社数	35社

■ 株式の状況 (2009年9月30日現在)

- 発行可能株式総数……………400,000,000株
- 発行済株式総数……………129,370,899株
- 株主数……………15,027名
- 所有者別株式分布状況



新社屋の地図

2009年12月16日から新社屋を開始いたします。



JUKI 株式会社

〒206-8551 東京都多摩市鶴牧二丁目11番1
TEL: 042-357-2211

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
定時株主総会基準日	毎年3月31日
単元株式数	1,000株
公告方法	電子公告により当社ホームページに掲載いたします。 (http://www.juki.co.jp) ただし、電子公告を行うことができない事故、その他のやむを得ない事由が生じた場合は、日本経済新聞に掲載して公告いたします。

上場証券取引所 東京証券取引所 市場第一部(証券コード:6440)

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関
(郵便物送付先) みずほ信託銀行株式会社
〒168-8507 東京都杉並区和泉二丁目8番4号
みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先) 0120-288-324 (フリーダイヤル)
受付時間9:00~17:00(土、日、祝日を除きます)

特別口座に関する
事務取次所 みずほ信託銀行 全国各支店
みずほインバスターズ証券 本店および全国各支店

*ご住所変更等の事務お手続きは、お取引の証券会社等にてお願いいたします。

特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記のみずほ信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます)を開設しております。特別口座についてのご照会およびご住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

ホームページのご案内



トップページ

投資家の皆様へ



<http://www.juki.co.jp>



<http://www.juki.co.jp/ir/index.html>

